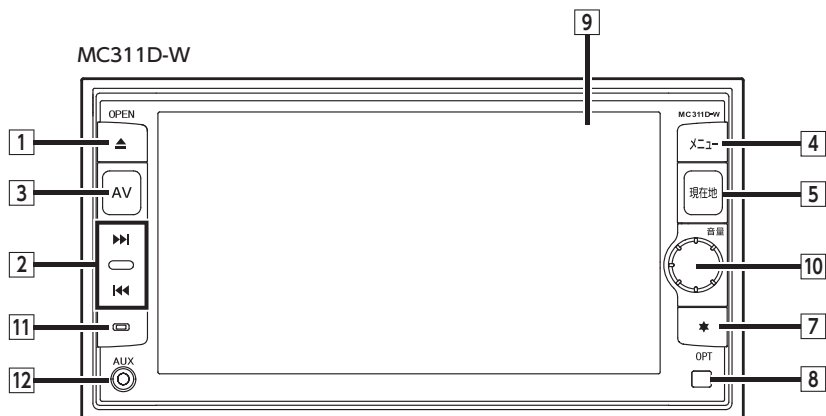
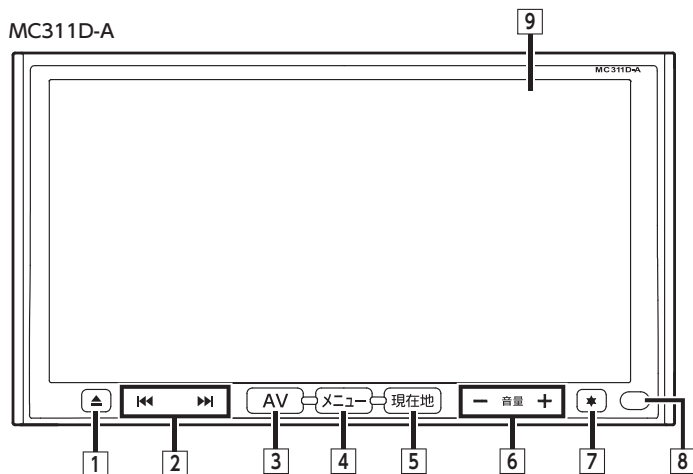
操作の前に

本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

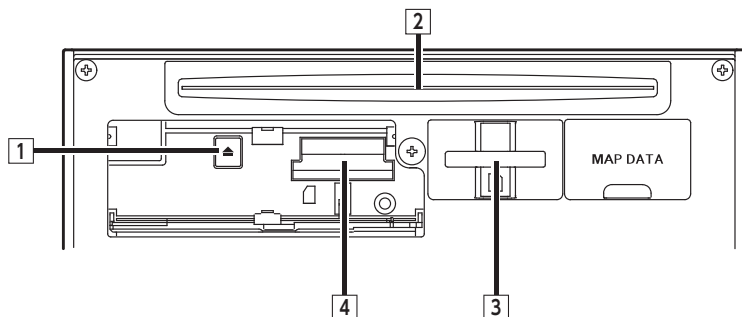
各部の名称とはたらき

操作パネル

本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明しています。

本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

番号	イラスト	操作の説明
1	⏏	操作パネルを開閉したり、操作パネルの角度を調整します。(P.14)
2	⏮ ⏭	オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック/チャプターを選択できます。長く押し続けることで、早送り、早戻しができます。
3	AV	現在選択中のオーディオソース画面を表示したり、ソース選択メニューを表示したりします。(P.152) ※画面はMC311D-Aのものです。
4	メニュー	この画面から「目的地」「ルート」「情報」「設定」の各メニューを表示します。 長く押し続けると、以下の設定ができるメニューを表示します。(P.15) ・画面全体に時計を表示する ・画面を消す
5	現在地	現在地の地図画面を表示します。(P.26) 長く押し続けることで、その時点での走行状態に応じた音声ガイドを確認できます。
6	＋ −	オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。(P.152、P.252)
7	★	このボタンにお好みの機能を割り当て、すぐに呼び出すことができます。(P.247) サイドブラインドモニター接続時は、カメラの表示を呼び出します。(P.266)
8	—	リモコン受光部です。別売のリモコンからの信号を受信します。
9	—	モニター兼タッチパネルです。画面が表示され、画面をタッチすることでタッチパネルとして機能します。
10	—	ロータリボリュームキーです。オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。(P.152、P.252)
11	—	盗難防止ランプです。盗難防止設定を「ON」に設定している場合にランプを点滅させて、盗難を抑止します。(P.244)
12	—	AUX端子です。オーディオのモードをAUXに切り替えると、接続した外部機器の音声を再生することができます。(P.272)

本体

本体のボタンやメディア挿入口について説明しています。本機の操作パネルを開くと確認できます。

番号	名称	機能の説明
1	[▲] イジェクトボタン	ディスクを取り出すことができます。ディスク挿入時は ▲ が点灯します。**(P.150)**
2	ディスク挿入口	DVDビデオ、DVD-VR、CD、MP3・WMAディスクを挿入する場所です。**(P.150)**
3	SDカード挿入口	SDカードを挿入する場所です。**(P.151)**
4	mini B-CASカード挿入口	mini B-CASカードを挿入する場所です。**(P.160)** フタの上部に指をかけて手前に倒すと現れます。

⚠ 注意

- **DVD/CDプレーヤー部**
  - 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
  - ディスクをイジェクトした状態のままで走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下するおそれがあります。

本機で利用できるメディアについて

ディスクについて

- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：255（ルートを含む）
  ファイル：512
  トラック：1フォルダあたり255

⚠ 注意

- **下記のディスクは、ディスクに傷が付いたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。**
  ・8cmCD
  ・異形のディスク
  ・デュアルディスク（Dual Disc）
  ・ラベルを貼り付けたディスク
- **ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。**
- **ディスクは、表面に傷や指紋をつけないように扱ってください。**
- **セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。**

再生できるCD

- 音楽CD
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク ※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD ※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
- コピーガード付きCD※3

  ※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
  ※2 正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
  ※3 再生できないこともあります。

再生できないCD

- MIX MODE CD
- CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
- DTS CD
- ビデオCD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク

再生できるDVD

本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。
DVD-VRを再生する場合は、あらかじめお持ちのレコーダーでディスクをファイナライズしておく必要があります。

- DVD VIDEO のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

再生できないDVD

- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM

  ※ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

ディスクの保管場所について

ディスクは次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

SDカード／USBメモリーについて

本機で使えるSDカード／USBメモリー

- 記録メディア
  SDカード、SDHCカード（32GB以下）、
  USBメモリー
  ※SDXCメモリーカードには対応していません。
- 記録フォーマット
  SDカード：FAT16、FAT32
  USBメモリー：FAT12、FAT16、FAT32
- SDカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
  フォルダ：500
  ファイル：8000
  トラック：1フォルダあたり99
- USBメモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
  フォルダ：512
  ファイル：8000
  トラック：1フォルダあたり255
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3/WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）
- ファイルサイズが2GB未満のファイル
  （ただし、ファイルサイズが1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。）

MP3・WMAについて詳しくは、**P.312**をご覧ください。

利用可能なSDカード

SDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。
本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。
本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- miniSDカード※
- microSDカード※
  ※専用のアダプターが必要です。

MEMO

- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SDカードについてのご注意

- SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
- 書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SDカードを本機から抜いたり、エンジンを切ったりしないでください。
- SDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
- SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SDカードの端子部に、手や金属で触れないでください。
- SDカードの最適化は行わないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。

- SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ウォークマンについて

本機で使えるウォークマン

本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン（Eシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズ/Xシリーズ）を接続し、再生することができます。
（ただしファイルサイズが1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。）
※2007年3月以降、2010年11月以前に発売されたウォークマンに限ります。

基本的な使いかた

MEMO

- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、電源がONになります。

1　エンジンをかける

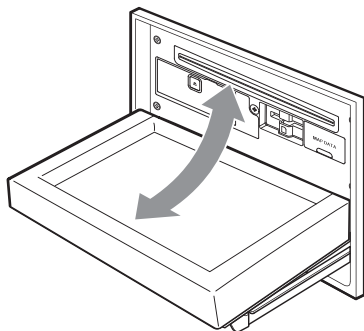
本機に電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、現在地地図画面が表示されます。

MEMO

- 次回、本機を起動したときは現在地地図画面、またはオーディオ画面からはじまります。
- イグニッションキーを「ACC」から「OFF」にすると、本機の電源が切れます。
- 盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示される場合があります。**(P.245)**

操作パネルを開閉する

1　⏏

操作パネルが開きます。

操作パネルを閉じるには、もう一度 ⏏ を押します。
しばらく開けた状態にしていると、操作パネルは自動的に閉じます。

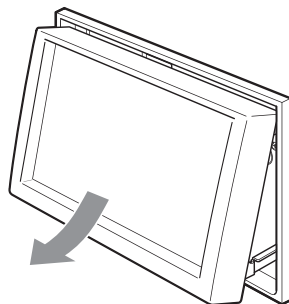
MEMO

- 操作パネルが開いた状態では、タッチパネルは操作できません。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0 ～ 30度（約5度刻みの6段階）の範囲です。

1　⏏（長押し）

「ピピッ」と音がした後に ⏏ から指を離すと操作パネルが1段階開きます。
操作パネルは約5度刻みの6段階の角度で調整できます。

MEMO

- 最大の角度（30度）まで開いている状態で ⏏ を長押しすると、0度の状態に戻ります。また、操作パネルが開いているときに ⏏ の長押しを行い、「ピピッ」と音がしてから指を離すと0度の状態に戻ります。
- 「ディスプレイの位置が正しくありません。もう一度、パネルをオープンしてください」と表示された場合、⏏ を押して操作パネルを開いてください。

画面の表示を消す

画面を非表示にします。

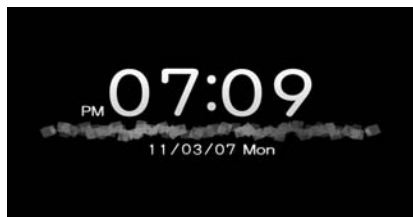
1 (メニュー)（長押し）

2 画面消し

この画面で 時計画面表示 をタッチすると、画面全体に時計が表示されます。

MEMO

- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 画面をタッチする
  - (メニュー)、(現在地)、(★)、(AV) のいずれかを押す
- 画面が消えた状態、または時計が表示された状態でエンジンを切っても、次にエンジンをかけたときには通常地図画面が表示されます。

時計画面表示（画面全体）

時計の表示を設定する

画面に表示される時計は、GPSを受信すると自動で表示されます。

1 (メニュー)

2 設定 ▶ その他設定 ▶ 時計

3 各キーで時計表示を設定

時計表示（地図・メニュー）：
各画面で時計を常に表示させるかどうかを設定します。

時計表示（オーディオ映像画面）：
テレビ／ DVD ／ VTR ／ iPodビデオなど、映像ソースのオーディオ画面で時計を表示させるかどうかを設定します。

24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示／ 12時間表示で切り替えます。ONに設定すると24時間表示になります。

オフセット調整：
1分単位で時刻を調整できます。調整できる範囲は、－59分～＋59分です。

文字の入力・変換・消去

文字の種類を切り替える

文字を入力する前に、ひらがな・漢字、カナ、アルファベットといった文字の種類を切り替えます。

MEMO

- ミュージックキャッチャーのアルバム名編集など、編集時のみの機能です。

1 入力したい文字の種類を選択

キーの表示が切り替わります。
文字の種類は以下の順で切り替えることができます。
ひらがな→カタカナ（全角／半角）→英数（大文字／小文字／全角／半角）→記号（全角／半角）→ひらがな

文字を入力する

MEMO

- 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 画面上の文字を選択

2 続けて画面上の文字を選択 ▶

MEMO

- ひらがな、カタカナキーでは、文字入力後 小文字 をタッチすると、小さい文字を入力できます。
  例：「っ」「ょ」「ィ」など

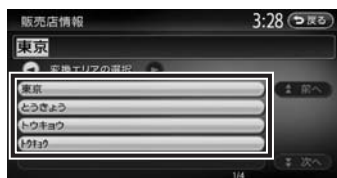
文字を変換する

MEMO

- 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

1 文字を入力

2 変換

変換候補が表示されます。

3 変換対象を選択

MEMO

- 変換候補が多い場合は、前へ、次へ をタッチして変換対象を探してください。

範囲を変えて変換する

入力した文字列の範囲を変えて変換することができます。

1 文字を入力

2 変換

変換候補が表示されます。

3 ［変換エリアの選択］の ◀、▶

変換する範囲が変更され、該当する変換候補が表示されます。

4 **変換対象を選択**

文字を消去する

1 ◀、▶

消したい文字にカーソルを移動します。

2 修正

文字が1字消えます。

MEMO

- 修正 をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- カーソルが文字の間にあるときに 修正 をタッチし続けると、カーソルがある位置の文字とその右側の文字をすべて消去することができます。

文字を挿入する

1 ◀、▶

挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動します。

2 **挿入する文字を入力**

文字が挿入されます。

予測候補を表示する

入力した文字ではじまる語句の予測候補をリスト表示させます。予測候補から文字を選ぶことで、変換を含む入力をすばやく行えます。

MEMO

- 予測候補機能は、目的地検索メニューでのみ使用できます。

1 **文字を入力**

2 予測候補

3 目的の項目を選択

タッチした候補が文字入力欄に表示されます。

MEMO

- 表示される候補は、それまでに入力した語句や、県名・ブランド名などよく入力される語句、また有名施設の名称などです。
- 候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。

リストをスクロールする

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

リストを1つ移動するには

1 ▲ または ▼

リストのページを移動するには

1 ⏫ または ⏬

MEMO

- ⏫ または ⏬ をタッチし続けると、連続してページが移動します。リストの最後まで移動するとリストの先頭に戻ります。

インデックスを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」ではじまる項目を絞り込む方法を説明します。

1 た

「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

2 リストから該当する項目を選択

このように「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」など50音の行頭キーが表示された場合は、行頭キーをタッチしてリストから該当する項目を探します。

MEMO
- インデックスがすべて表示されていない場合は、⏫ または ⏬ をタッチしてページを送ってください。

リストの選択／解除をする

リストの項目に以下の画面のようなON/OFFのランプがついているものは、項目をタッチするごとに、選択／解除が切り替わります。「ON」の状態が選択中を表します。

全選択をする

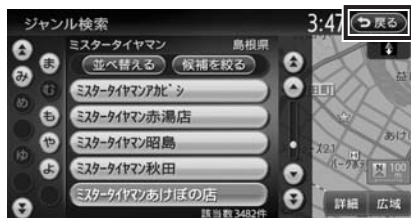
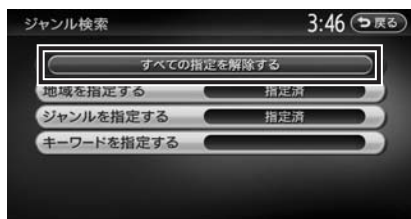
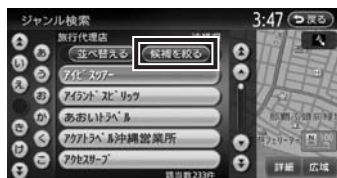
すべて選択／解除 というキーが表示されている場合は、すべての項目を選択できます。

1 すべて選択／解除

すべての項目が選択されます。

MEMO
- 再度 すべて選択／解除 をタッチすると、すべての選択を解除できます。

項目を絞り込む

MEMO
- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。たとえば地域とジャンルで絞り込みを行った場合、地域で絞り込んだ項目に「東京都」がない場合は、ジャンルで絞り込んだ項目の中に「東京都」は表示されません。
- すべての絞り込みを解除したいときは、絞り込み指定の画面で すべての指定を解除する 、または検索結果リスト画面で 戻る をタッチしてください。

1 検索結果リスト画面で 候補を絞る

絞り込み指定の画面が表示されます。

操作の前に

地域を指定する

リストの項目数が多い場合、地域を指定して項目を絞り込めます。

1 [地域を指定する]の 未指定

2 都道府県名を選択 ▶ 市区町村指定

> **MEMO**
> - すでに都道府県を指定している場合は、手順3に進みます。
> - 5つまでの都道府県を選択できます。
> - 市区町村名が不明の場合は、指定を完了 をタッチすると都道府県で項目が絞り込まれます。

3 市区町村名を選択 ▶ 指定を完了

項目が絞り込まれて表示されます。

> **MEMO**
> - 再度 候補を絞る をタッチして、地域を絞り込むこともできます。その際には、[地域を指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。都道府県選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した地域が解除され 未指定 に戻ります。

ジャンルを指定する

リストの項目数が多い場合、ジャンルを指定して項目を絞り込めます。

1 [ジャンルを指定する]の 未指定

2 ジャンルを選択

> **MEMO**
> - 指定を完了 をタッチすると、選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。
> - 再度 候補を絞る をタッチして、ジャンルを絞り込むこともできます。その際には[ジャンルを指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。ジャンル選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定したジャンルが解除され 未指定 に戻ります。

施設種別を指定する

ハイウェイの施設リストで、インターチェンジ入り口、サービスエリアといった施設の種別を絞り込めます。

1 [施設種別を指定する]の 未指定

2 施設種別を選択 ▶ 指定を完了

項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

- 再度 候補を絞る をタッチして、施設種別を絞り込むこともできます。その際には[施設種別を指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。施設種別選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した施設種別が解除され 未指定 に戻ります。

路線を指定する

ハイウェイの施設リストで、4号新宿線上り、5号池袋線下りといった路線を絞り込めます。

1 [路線を指定する]の 未指定

2 路線名を選択 ▶ 指定を完了

項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

- 再度 候補を絞る をタッチして、路線を絞り込むこともできます。その際には[路線を指定する]の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。路線選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した路線が解除され 未指定 に戻ります。

キーワードを指定する

リストの項目数が多い場合、施設名に含まれる文字を指定して項目を絞り込めます。1文字でも絞り込めます。

1 [キーワードを指定する]のエリア

2 施設名に含まれる文字を選択 ▶ 候補を表示

項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

- 再度 候補を絞る をタッチして、キーワードで絞り込むこともできます。その際には[キーワードを指定する]の表示項目をタッチしてください。文字入力画面で 修正 を長押しすると、抽出に指定した文字を消せます。

近隣県を指定する

住所やハイウェイ施設から目的地を探すときに、近隣県 をタッチすると、現在地周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 近隣県

MEMO

- 地名を入力 をタッチすると、地名を入力して目的地・地点を探せます。
- MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所が地図で表示されます。

2 絞り込みたい県を選択

関連する地図を表示する

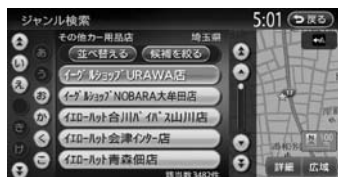
候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。
都道府県リストで MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所の検索結果画面が表示されます。

数値を増減する

リストの項目に ＋、－ が表示されている場合は、数値や音量などを増減することができます。

リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくできます。

1 並べ替える

2 並べ替える方法を選択

リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

読み順：
50音順にリストが並べ替えられます。

近い順：
自車位置から目的地までの距離が近い順にリストが並べ替えられます。

登録順：
地点登録順にリストが並べ替えられます。

新着順：
メディアに紹介された年月日の新しい順にリストが並べ替えられます。（TVサーチ情報検索のみ）

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンごとにリストが並べ替えられます。

グループ指定：
指定したグループを先頭にしてリストが並べ替えられます。

路線順：
各路線の上り／下り方向の順にリストが並べ替えられます。（ハイウェイ検索のみ）

MEMO

- 機能によっては、表示されないキーもあります。

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。
本機を購入されたら、まず自宅の登録を行うことをおすすめします。
ここでは、住所から自宅を登録する方法を説明しています。

1 メニュー

2 目的地 ▶ 自宅へ戻る

3 はい ▶ 住所

4 **都道府県を選択**

5 **市区町村を選択**

6 **地域を選択**

7 **番地、号を選択**

MEMO

- 番地を入力 をタッチすると、番地、号を入力できます。
- 号がない住所の場合は、番地をタッチしてください。

8 決定

MEMO

- 表示された場所が、実際の自宅の場所とずれている場合は、地図をスクロールして自宅地点を調整してください。(P.30)

9 戻る

自宅が登録され、目的地メニュー画面に戻ります。

自宅情報を編集する

登録済みの自宅情報を編集します。

1 メニュー

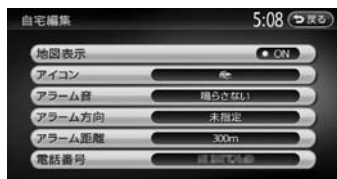
2 設定 ▶ ナビゲーション

3 登録データの編集・消去 ▶ 自宅

4 編集

位置を修正：
地図をスクロールして自宅の位置を修正します。

消去：
登録済みの自宅情報を消去します。

5 **編集する項目を選択**

地図表示：
「ON」に設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示します。

アイコン：
自宅に割り当てるアイコンを設定します。

アラーム音：
自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定します。

アラーム方向：
自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定します。方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：
自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定します。

電話番号：
電話番号を編集します。

MEMO

- 自宅が未登録の場合は、自宅 をタッチすると自宅検索画面が表示されます。